

2015 Expert Collection

10月号通巻第373号



株式会社
エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

シーズン直前！！今年もメイドインジャパンにこだわり、皆様の期待に応えられるよう生産準備を続けております。

(先行受注で頂いている販売店様には、10月に入り次第順次出荷を進めさせて頂きます。)



EXPERT OF JAPAN 純日本製・NEWワカン

◆E0Jの定番スノーシューズがバージョンアップしました！



●フロントバンドのセット方法を変更し、丸カン付きバンドが靴の側面に沿って立ち上がる様に改良されました。
取り付けが簡単になり、靴によりフィットして締め付けが出来ます。

勤勉なメイドインジャパン スノーシューズシリーズ

強いぞニッポン

◆スノーシューズM(SN3)

税込価格:¥12,690(本体価格¥11,750)

◆スノーシューズM(F)フラット型(SN17)

税込価格:¥12,420(本体価格¥11,500)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。
爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:410 mm×182 mm 重量:770g

だんとうニッポン

◆スノーシューズL(SN4)

税込価格:¥13,068(本体価格¥12,100)

◆スノーシューズL(F)フラット型(SN18)

税込価格:¥12,852(本体価格¥11,900)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。
爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:441 mm×182 mm 重量:780g

エクスパートオブジャパン製の6本爪アイゼンシリーズをピックアップ。軽アイゼンにもクロモリ鋼を使用した、大定番です。

がんばれニッポン

SP(超)リトルベアーⅡシリーズ

リトルベアーⅡの特長

○世界で初めて研究開発された6本爪軽アイゼン。トレッキングシューズを含む、あらゆる靴にジャストフィットします。アイゼン爪角度の発明特許商品。

○最高級の世界で唯一のクロモリ鋼製。日本が誇る先端技術の焼入れ、塗装をほどこした自慢の商品。世界最軽量。コンパクトサイズ。着脱時間はワンタッチアイゼンに劣らず。装着感も勝れる秀作です。

エコですニッポン

SP(超)ショートリトルベアーⅡ set(ST34)

材質:クロモリ鋼製。カラー:黒色電着塗装。

-DATA-

サイズ/168 mm×110 mm 爪高 20 mm 重量/505g

税込価格/¥8,532(本体価格¥7,900)



歴史のニッポン

SP(超)リトルベアーⅡ set(ST31)

材質:クロモリ鋼製。カラー:黒色電着塗装。

-DATA-

サイズ:168 mm×110 mm 爪高:31 mm 重量:505g

税込価格:¥9,666(本体価格¥8,950)



靴の上に乗せ、靴とアイゼンがぴったり合ったところで、付属のレンチで2本のボルトを締めつければ、ボルトを外さずにサイズ調整が完了するスライド式新型6本爪軽アイゼン。微調整可



楽ですニッポン

クロモリ 6Pset(ST30)

クロモリ鋼製/黒色電着塗装。

サイズ/165 mm×83 mm。爪高 31 mm。重量/380g

税込価格/¥7,884 (本体価格¥7,300)

○ 固定バンド式の6本爪軽アイゼンです。世界唯一のリングレスフリーサイズ。6本爪では世界最軽量。

○ 固定バンドはフレーム底のテープ穴に通す構造です。サイズ調整は固定バンドで行えます。固定バンドは足首を巻く装着法です。バンドが緩んだ際もアイゼンは脱落しません。靴サイズの違う同行者にアイゼントラブルが発生しても救いの装備になります。

○ 氷雪によく効くよう爪の配置、形状を研究開発しました。

○ 小さな靴用にはフリーサイズのクロモリ6Pがジャストフィットします。

やまのかたりべ
第 59 章 ハヶ岳 編笠山

やまのかたりべ第 56 章(コレクション 370 号)で書かせていただいた、山頂まで行けなかった編笠山に登りに行きたいと思う事数カ月。季節はすっかり夏。梅雨の合間を狙って今回リベンジすることに。天気次第なので、前日まで決行を決め兼ねる…台風 9 号、10 号、11 号と発生しているが 9 号は反れ、本州一体晴れ間が続く。これはチャンス！と編笠山リベンジ決行！夫を誘うが忙しくて行けないとの事。了解！私一人で楽しんでしまあす。

7 月 12 日(日) AM4 時 30 分 起床

昼食のおにぎりを作り、水筒には氷をたっぷりつめて水を注ぐ。これだけでは足りないのでは、水を凍らせたペットボトルも持参。山頂に登るまで水場がないので、水分は多いかな…と思うぐらい持参。

5 時 40 分 自宅出発

前回同様、八王子で 6 時 35 分発、各駅停車松本行きに乗り換える。八王子が発なのでありがたい事に座れる。下車する小淵沢駅まで 2 時間以上あるので睡眠時間にする。

9 時 02 分 小淵沢駅到着

今回は、編笠山の登山口である観音平に向かう人が自分一人しかいなかった。今日の天気はピーカン！観音平に行く登山者いるでしょ～！と思い電車を降りる。あれ？登山者が…いない？まさか～また一人タクシー？と思いながら改札を出ようとすると、スイカカードの残高が足りずひっかかる…。ここで思わぬ現金払いとなり、財布の中には千円札が一枚と小銭のみ…ん～、まあ、山ではお金使わないし…何とかかなるかな？いざとなればクレジットカードで何とかしようと、祈る思いで取りあえず改札を出る。

停車しているタクシーは一台もなく、目の前のタクシー案内センターへ。登山姿の女性が案内係の方から 4 番の整理券をもらっていたので、とりあえず私も 5 番の整理券を受け取る。女性がもしかしたら観音平に行くかもしれないと希望をもち声をかけると、「観音平にいきますよ」とのこと。「それでは、ぜひ乗合で行きませんか？」と相談すると、「そうしましょう！！」と。わああ、神様ありがとう！案内係の方に 4 番の方と一緒に乗りますので、と話すと「乗合はダメです。」と言。えっ！そんな決まりがあるの？北アルプスではよく乗合タクシーするけど…と思ったが、ダメと言われたら仕方がない。諦めてタクシーを待つ事に。

4 番の整理券を持った女性の友人らしき方が後から姿を現す。二人ともおしゃれなかわいい格好。ん～、自分ももう少し持物に気を付けるかな…なんて考える。そうこうしているうちに、4 番の方のタクシーが到着。運転手の方が出て来て、女性 2 人のザックをトランクに積みながら私の方を指さして会話している。あ～私も乗りたいと思っていたら、女性の方が来て、「運転手さんが目的地一緒なら乗っていいよ」とのこと。運転手さんに感謝。おかげで無事、乗合にて観音平を目指す事に。

今回はゲートが開いているので、観音平までタクシーで向かう。小淵沢駅から観音平まで、運賃¥3,340 円。端数は乗合させて頂いた私が払わせて頂いた。…これで所持金が 500 円切った。「帰りにまたお会いしたら乗合しましょう～」と声をかけて頂き、「その際はよろしくお願いします」と応えたが、もう乗合できるお金は持っていないので、タクシーは乗れないわ…と心の中で呟く。

観音平の駐車場は満車。昨日から入って一泊している方もいるのであろう。今日は雨の心配も無く、気持ちよく歩けそうだ。

9 時 40 分 女性 2 人にお礼を言って、観音平を出発

今回はトレーニング登山と言う目的もあり、山頂まで水分を取る以外は休憩なしで歩こうと決める。歩き始めて 10 分もしないで既に額から汗が垂れる。

前は季節が 4 月。まだ広葉樹の葉も生い茂っていなかったが、今回は緑が溢れている。クマ笹も地面を覆い尽くし、すくすく成長。鳥達もさえずり、大きな虫達がぶんぶん飛び回っている。夏を感じさせる草の匂い、夏山の季節だ…。山頂の景色を思うと気持ちがワクワク足取りが早くなる。

10 時 05 分 雲海展望台到着

前はガスで白い世界だったが今回は葉が生い茂っている…景色はあまり見えなかった。



10 時 30 分 押手川到着

青年小屋を経由して編笠山に向かうコースと編笠山に直で向かうコースの分岐点。

休憩されている方数人。私もここで水分補給。雪はすっかり無くなっている。

山頂直行コースを選択。ここから登りが急になる。

前回、自分がどこら辺で道が分からなくなったのか思いだしながら登る。

梯子をすぎ、森林限界地点に。

確かにここは迷うわ～。

のっぺりした岩場が姿を現す。



11 時 10 分 標高 2524m 編笠山山頂到着



数年前に登った山。当時この景色に大変感動した。今回二度目の登頂だが、やはり素晴らしい景色が広がっていた。



遠くに、北アルプス、富士山も見えた。
私は権現岳、赤岳を楽しみつつ少々早いお昼を堪能。
八ヶ岳、カッコいい。

日差しは強いのだが、風も少々強く、じっとしていると体が冷えてくる。山の空気ってこんな感じだったな…と久々の標高 2000 メートルの世界を楽しんだ。

次回は権現岳から赤岳に抜けて下山しよう…と、次の山行を考える私。

1時間ぐらい山頂に滞在したかったが、帰りはタクシーを使用しないと決めたので早々に下山。帰りは青年小屋を通過して押手川に戻る道を選択。

11時40分 山頂出発

青年小屋に向かう途中シャクナゲがところどころ咲いている。つぼみもあるので、これから咲くのでしょうか？



編笠山から青年小屋までの道、途中から大きな岩が出没。赤くマーキングされているが、この道はガスった時は分かりづらいので要注意。

12時00分 青年小屋到着

赤提灯、「遠い飲み屋」で有名な小屋。外のベンチでは自炊を楽しんでいる登山者数人。美味しそうな香りがしている。



<ポイント 1>

青年小屋 ハヶ岳で最も南部にある山小屋

営業期間 4 月下旬～11 月上旬

収容人数 150 人

テント場あり。

水場徒歩 4～5 分のところにあり。

売店あり。

ここから押手川まで樹林帯を進む。途中 5 メートル程先の方でガサガサッと笹をかき分ける音。なんだ？とそちらに顔を向けると逃げていく鹿の姿が…。ハヶ岳南部には熊はいないとタクシーの運転手さんが言っていたが、一瞬ドキッとした。この道も雪のある季節は道に迷いやすいとのこと。一応目印はあるが、冬はあまり利用したくない。

12 時 40 分 押手川分岐到着

ここから観音平までいっきに下山。途中、親子連れの団体さんとすれ違う。小さいお子様たちは元気いっぱい。天気も良かったし良い思い出になったかな？

13 時 30 分 観音平着

駐車場にはまだまだ多くの車が駐車している。私の下山はまだまだ続く。自然歩道ハイキングコースを経由してゲートまで。しかしこの自然歩道ハイキングコースが全く整備されていない。雑草がかなり生い茂っている。夏場はここを歩く人はあまりいないのか？？

14 時 05 分 ゲートに到着

小淵沢道の駅まで歩く事に。道の駅手前で前回同様、観音平で馬に乗ったおじさんとすれ違う。今回はお客様を馬に乗せておじさんは馬を引いている。軽く会釈したが、おじさん覚えてないかな？

14 時 45 分 小淵沢道の駅到着

案内所に行き、駅まで行くバスの時刻を尋ねる。バスは 15 時 40 分までないとのこと。これだけ時間があれば温泉も楽しめるのに温泉に入るお金がない。残念！バスの運賃は 300 円。バス乗車すると楽しみのビールを買うお金が無い。駅まで徒歩 30 分と言うので歩いて向かう事に。小銭はビールに取っておこう！

15 時 25 分 小淵沢駅到着

駅前のお土産屋さんで缶ビール購入。駅のホームで楽しむ。

16 時 17 分 ホリデー山梨に乗車

心地よい車内の温度とともに睡魔に襲われる。目覚めると高尾駅目前。車内も立ち乗りしている人が増えてくる。

地元の駅、武蔵小金井に下車。

山頂のあの清々しい空気はどこへやら。ムシムシとした空気と風にいよいよ日本の夏到来か？汗をじっとりとかきながら駅から 20 分歩いて我が家へ。

今年の夏はどんな夏になる事でしょう。

それぞれの夏山、皆様にとって良い思い出登山となりますように…。

小淵沢駅到着	9 時 02 分
タクシーにて観音平へ	
観音平出発	9 時 40 分
雲海展望台着	10 時 05 分
押手川着	10 時 30 分
編笠山山頂着	11 時 10 分
編笠山山頂発	11 時 40 分
青年小屋着	12 時 00 分
押手川着	12 時 40 分
観音平着	13 時 30 分
徒歩にて小淵沢駅着	15 時 25 分



(楽しそうな親子登山の風景、下山時雲海展望台にて)

< 今回の「編笠山」山行をサポートしてくれたアイテムをご紹介します！ >

素晴らしいニッポン

ステッキシリーズ

3段金剛(S1)

転用品につきバスケット大をサービス3段は径が違うパイプの3段式。

カラー/茶、濃紺。長さ/499mm～965mm。

重量/240g。税込価格/¥9,280(本体価格¥8,600)



3段クッション金剛(S2)

グリップ内にダブルクッション機構付き。

カラー/ワイン、ブルー。長さ/510mm～998mm。

重量/270g。税込価格/¥9,936(本体価格¥9,200)



4段金剛(S3)

4段は径が違うパイプの4段式。

カラー/ワイン、ブルー。長さ/474mm～941mm。重量/240g。税込価格/¥9,720(本体価格¥9,000)

4段クッション金剛(S4)

最も短いコンパクトサイズ。ダブルクッションつき。

カラー/ワイン、ブルー。長さ/458mm～963mm。重量/275g。税込価格/¥10,368(本体価格¥9,600)



S1

S2

S3

S4

「オートキャンプ人口は2年連続増」

当コレクションでも昨年の2014年10月号で特集した「オートキャンプ人口推移」についてですが、今年も「オートキャンプ白書2015」が発表されました。それによると2014年のオートキャンプ参加人口は前年比4%増の780万人。世代別では、20代と50代が増加。ファミリー世代中心の構造は変わらないが、確実に裾野は拡大している。また海外からの旅行客による「訪日キャンパーが増えた」との報告もあるとのこと。キャンプ用品市場規模(登山用品、ウェア、シューズを除く)も昨対2.2%増の509億円と堅調の様です。用品に関しても、海外客の影響は出ている様で、都内のショップでは外国人来店客の増加が指摘されており、なかでも台湾からの来店者が多く日本製のアウトドア用品を買い求める傾向が強いとの事です。

2015年はどの様になるのか今後興味深いです。ブームが過ぎ、これまでの勢いを失っている登山用品市場と比較すると、オートキャンプ市場は今年も伸びて行くように感じます。猛暑は厳しいとはいえ、晴天が続く今年。キャンプへの参加者は増えるはず。また近年の「訪日キャンパー」も間違いなく増えてくる事が見込まれます。

登山市場においても、今年の夏は、梅雨明け後晴天続きのおかげで、平日・土日問わずに山小屋は賑わっていると話を聞いています。昨年夏は天候不順で例年よりお客が少なかった山小屋も、今年は大忙しの様です。登山者の増加が用品の消費にもつながり、かつ事故のない登山をするために、きちんとした装備をする登山者が1人でも多くなることを切に祈っています。

文責:松田次郎

エキスパートオブジャパン・Facebook ページも随時更新中！

山の記録や商品紹介、その他スタッフ達のコメントやヒラメキ！？などなどを投稿中です。
ぜひ「いいね」をクリックお願いいたします。

